

日 程・会 場

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会

会 期：2019年4月18日(木), 19日(金), 20日(土)

会 場：パシフィコ横浜 会議センター+展示ホール A

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

TEL：045-221-2155 (総合案内)

学会本部：パシフィコ横浜 会議センター2F 212

使用会場

会 場		内 容
第1会場	会議センター1F メインホール	開会の辞・閉会の辞・総会・会長講演・文化講演・特別講演・シンポジウム・Expert Technical Note・指導医イブニングセミナー・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー
第2会場	会議センター5F 503	主題・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・モーニングセミナー
第3会場	会議センター5F 501	シンポジウム・English Presentation Award・一般口演英語・ランチョンセミナー
第4会場	会議センター5F 502	教育研修講演・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー
第5会場	会議センター3F 301	一般口演・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・モーニングセミナー
第6会場	会議センター3F 302	一般口演・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・モーニングセミナー
第7会場	会議センター3F 303	一般口演・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・モーニングセミナー
第8会場	会議センター3F 304	一般口演・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・モーニングセミナー
第9会場	会議センター3F 311+312	一般口演・ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・モーニングセミナー
第10会場	会議センター3F 315	一般口演・ランチョンセミナー・ハンズオンセミナー※

※事前登録制

会 場		内 容
ポスター会場	展示ホール A	ポスター発表・ポスター展示
機器・医薬品展示	展示ホール A	機器・医薬品展示
書籍展示	会議センター 3F ホワイエ	書籍展示

日本脊椎脊髄病学会理事会・評議員会・総会

内 容	日 時	会 場
理事会	4月17日(水)13:00~15:00	会議センター 5F 511
評議員会	4月17日(水)15:30~17:30	会議センター 5F 503
理事会	4月18日(木)11:30~12:30	会議センター 5F 513
総会	4月18日(木)12:55~13:45	会議センター 1F メインホール

お 知 ら せ

I. 参加される皆様へ

参加受付

(1) 受付場所

パシフィコ横浜 会議センター2F

(2) 日 時

4月18日(木) 6:45~18:00

4月19日(金) 7:00~18:30

4月20日(土) 7:00~11:30

※第17回脊椎脊髄病研修コースについては、P. 24に掲載されています。

(3) 参加費

対象者	日本脊椎脊髄病学会	
	会 員	非会員
医 師	18,000円	20,000円
初期臨床研修医 メディカルスタッフ	5,000円	
学 生	無 料	

※初期臨床研修医および学生の方は所属長の証明が必要です。参加受付の際に、提出してください。証明書は、学術集会ホームページ(<http://www.congre.co.jp/jssr2019/>)からダウンロードできます。

(4) 受付方法

参加受付は、学会会期中に参加登録受付(パシフィコ横浜 会議センター2F)にて行います。ネームカードには所属・氏名をご記入の上、会場内では必ずご着用ください。ネームカードをお持ちでない方の入場は固くお断りいたします。

English Presentation Award

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会では、English Presentation Award を設け、ご応募いただいた演題の中から48演題を採択しました。4月18日(木)に English Presentation Award Session としてご発表をいただき、総合的に優秀と評価された主演者(最大10名)に English Presentation Award を授与いたします。English Presentation Award の発表および表彰式につきましては、4月18日(木)の全員懇親会にて執り行います。

プログラム検索&スケジュール登録アプリ(MICEnavi)について

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会にご参加される方は、ご自身のスマートフォンや携帯タブレットを使ってプログラム検索やスケジュール登録が行える「MICEnavi」サービスをご利用いただけます。(P. 16に詳細を掲載しています。)

クローク

下記会場・時間にクロークを設置しております(荷物は当日中にお引取りください)。
貴重品はお預かりできませんので、あらかじめご了承ください。

	4月18日(木)	4月19日(金)	4月20日(土)
パシフィコ横浜 会議センター1F	6 : 45 } 19 : 00	6 : 45 } 20 : 00	7 : 00 } 13 : 00

掲示板・伝言板

パシフィコ横浜 会議センター2Fに掲示板・伝言板を設けますのでご利用ください。

呼び出し

緊急の場合のみ、講演会場内でサイドスクリーンによる呼び出しを行います。

会場内でのご注意

会場内での録音, 写真およびビデオの撮影は禁止しておりますのでご遠慮ください。また、携帯電話は必ず電源スイッチを切るかマナーモードへの切り替えをお願いします。

喫煙所

パシフィコ横浜 展示ホール1Fにございます。会議センターは全て禁煙です。

機器・医薬品展示

パシフィコ横浜 展示ホール A にて開催します。

書籍展示

パシフィコ横浜 会議センター3Fにて開催します。

食 事

ランチョンセミナーでは昼食, モーニングセミナーでは朝食(デニッシュセット)を各会場前でお配りしております。

単位申請をされた先生からご案内する予定ですので、予めご了承ください。

おもてなしコーナー

パシフィコ横浜 展示ホール A 展示会場内に、山梨銘菓およびソフトドリンクをご用意いたします。数に限りがございますが、どうぞご利用ください。

インターネット

会議センター・展示ホールのそれぞれにて無線 LAN をご利用いただけます。SSID「FREE-PACIFICO」に接続してください。

全員懇親会

日時：4月18日(木)19:00～21:00

会場：横浜ベイホテル東急 クイーンズグランドボールルーム

参加費は無料です。懇親会中に English Presentation Award の表彰をおこないます。
奮ってご参加ください。

入会申込

日本脊椎脊髄病学会への一般会員・専門会員の入会申込は学会ホームページよりお申し込みください。

特定会員の入会申込みには本会理事または評議員の推薦を要しますので、申し込み方法が異なります。詳しくは学会ホームページ（URL：<http://www.jssr.gr.jp/>）をご確認ください。

Ⅱ. 座長の皆様へ

1. 口演発表の座長は、担当セッション開始時刻の10分前までに、次座長席にご着席ください。
2. ポスターの発表の座長は、担当セッション開始時刻の10分前までに、ご担当いただくポスター会場前の座長受付にお越しのうえ、座長リボンをお受け取りください。
3. 進行時間は厳守でお願いします。

Ⅲ. 口演発表の皆様へ

1. 発表時間
 - 1) シンポジウム 1 : 発表10分, 総合討論40分
 - 2) シンポジウム 2 : 発表15分, 総合討論30分
 - 3) Expert Technical Note : 発表25分, 質疑5分
 - 4) English Presentation Award : 発表5分, 質疑3分
 - 5) 主題・一般口演 : 発表5分, 質疑3分
2. 発表終了の合図：発表時間の終了1分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプが点灯します。必ず発表時間を厳守してみてください。
3. 次演者は、前演者が登壇されたら次演者席で待機してください。
4. 発表方法
プレゼンテーションは、データ持込または各演者ご自身が持ち込むノートパソコン（Windows または Macintosh）でお願いします。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。解像度は、XGA(1024×768ピクセル)です。

5. 受付場所・時間

発表データまたはノートパソコンの受付はPC 受付(発表データ受付)にて行います。
PC 受付の場所と受付時間は下記のとおりです。

受付場所	受付時間
パシフィコ横浜 会議センター1F	4月18日(木) 7:00~18:00
	4月19日(金) 7:00~19:00
	4月20日(土) 7:00~11:30

*発表セッションの開始30分前までに受付をお済ませください。

*発表会場へはトラブル回避の為、セッション開始20分前までにお越しください。

6. 発表機材とデータの作成

【発表データ持参の場合】

- 1) メディアは、CD-R か USB フラッシュメモリでの持ち込みに限ります。
※CD-R にデータをコピーする時には、ファイナライズ(セッションのクローズ)作業を必ず行ってください。この作業が行われていないと、作成したPC 以外では、データを開くことができませんので、ご注意ください。
- 2) 発表データのファイル名は、「演題番号(半角)」+「発表者名」としてごください。
- 3) 事務局準備のパソコンのOSは、Windows10を用意いたします。データ作成のアプリケーションソフトは、Microsoft Power Point 2010, 2013, 2016のバージョンが使用できます。Macintosh で作成されたデータには対応できませんので、必ずご自身のパソコンをお持ち込みください。
- 4) フォントはOS に標準装備されているもの(MS・MSP ゴシック, MS・MSP 明朝, Arial, Arial Black, Century, Century Gothic, Times New Roman)をご使用ください。
- 5) 画面の解像度はXGA(1024×768ピクセル)です。このサイズより大きい場合は、スライドの周囲が切れてしまいますのでご注意ください。
- 6) 動画(Power Point のアニメーション機能除く)を使用される場合は、ご自身のノートパソコンをご持参ください。音声は利用できません。
- 7) 発表データは会場内のパソコンに一旦コピーさせていただきますが、学会終了後に事務局にて責任を持って消去いたします。

【ノートパソコン持参の場合】

- 1) ノートパソコンをお持ち込みの場合は、PC 受付でパソコンの出力確認後、発表セッション開始30分前までに会場内演題付近のオペレーター席までご自身でパソコンをお持ちください。パソコンは、発表終了後にオペレーター席にて返却いたします。
- 2) パソコン本体での発表はWindows(2000以降)、Macintosh(MacOS9以降、Keynote 含む)が使用できます。
- 3) ノートパソコンをお持ち込みの場合でも、バックアップ用データをCD-R またはUSB フラッシュメモリでご持参ください。
- 4) 会場で用意するPC ケーブルコネクターの形状はMiniD-sub15ピンです。この形状にあったノートパソコンをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必ずご用意ください。
- 5) 音声の利用はできません。

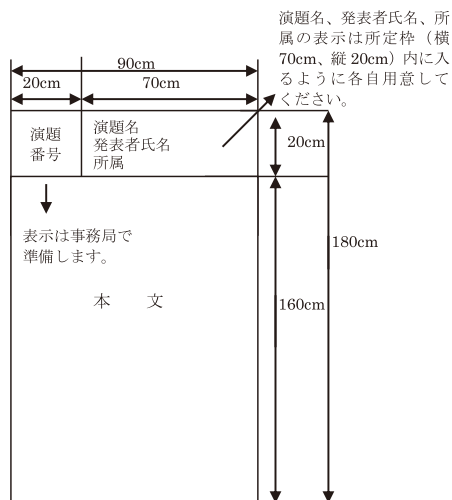


D-sub 15ピン

- 6) スクリーンセーバーや省電力設定など、発表の妨げとなるツールは予め解除してください)
- 7) 発表者ツールのご使用はご遠慮ください。
- 8) 電源ケーブルは必ずご持参ください。

Ⅳ. ポスター発表の皆様へ

1. 発表セッションの開始10分前にはご自身のポスター前で待機してください。
発表時間は、発表3分、質疑応答2分です。
2. ポスターのサイズは、幅90cm×高さ180cmです。演題名、発表者名、所属の表示(幅70cm×高さ20cm)は、各自でご準備ください。
3. パネルに押しピンと演者用リボンをご用意しております。
4. ポスター貼付・撤去時間は以下のとおりです。
貼付：4月18日(木) 8：00～11：00
撤去：4月20日(土)12：00～13：30



Ⅴ. 利益相反(COI開示)について

筆頭発表者は、当該の臨床研究に関連する企業・法人組織や、営利を目的とした団体との経済的な関係について、過去1年間におけるCOI状態の有無を演題登録時および採択後の当日発表時に申告いただきます。

講演発表者：発表スライドの最初もしくはタイトルの後に、次ページのスライドを挿入してください。

ポスター発表者：ポスターの最後に次ページのスライドもしくは同等の文言を記載してください。

<利益相反状態にない場合>

日本脊椎脊髄病学会
筆頭発表者のCOI開示

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業等はありません

<利益相反状態にある場合>

日本脊椎脊髄病学会
筆頭発表者のCOI開示

受託研究・共同研究費： ○○製薬
奨学寄附金： ○○製薬
寄附講座所属： あり(○○精機)

スライドのサンプルは、学術集会ホームページ(<http://www.congre.co.jp/jssr2019/>)からダウンロードできます。

Ⅵ. 発言をされる皆様へ

発言を希望される方は、あらかじめ会場内のマイクの前に並んでお待ちください。座長の指示に従い、所属・氏名を述べたあと簡潔に発言してください。

Ⅶ. 教育研修講演を受講される皆様へ(単位受付)

特別講演，教育研修講演，Expert Technical Note モーニングセミナー，ランチョンセミナー，アフタヌーンセミナー，指導医イブニングセミナーは，日本整形外科学会教育研修講演単位が認められております。

受講単位は1講演(1時間)または2講演(各30分，計1時間)につき1単位です。なお，会期中に取得できる単位の上限はなくなりました。

なお，単位の取得を希望されない場合も，本学術集会参加者は，どなたでも聴講いただけます。

1. 受講受付

以下のとおり，パシフィコ横浜 会議センター1Fに教育研修講演単位受付を設置いたします。

	4月18日(木)	4月19日(金)	4月20日(土)
パシフィコ横浜 会議センター1F	6：45～18：00	7：00～18：30	7：00～11：30

2. 申込方法

1) 教育研修講演単位受付にて本誌巻頭綴じ込みの「日整会教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入のうえ，講演開始10分前までに受講料(講演：1,000円)を添えてお申し込みください。

2) 受講証明

①講演開始10分前から，開始後10分までにIC会員カードまたは仮ICカードを講演会場入り口のカードリーダーにかざして出席登録を行ってください。10分を

過ぎた場合、手続きが完了していない場合、途中退場された場合は、単位取得はできません。

②学術集会終了から1週間程度で、日整会ホームページの取得単位確認画面の単位振替システムでご自身の取得状況を確認できます。

3) 研修手帳をお持ちの方も、IC会員カードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要な事項を記入し、受講証明印の欄に「HP参照」と記入してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合いたします。

◆ご注意ください◆

2015年(平成27年)1月1日より、日本整形外科学会教育研修講演における単位取得が完全デジタル化されております。

・教育研修講演の単位取得にあたっては、IC会員カードが必要になりますので、必ずご持参ください。

カードがお手元のない方は日本整形外科学会事務局(03-3816-3671)までお問い合わせください。

※なお、本会は現金決済のみとなります。クレジット機能はご使用いただけませんので、ご了承ください。

・単位の必須分野番号を、受講当日に選択することはできません。後日、日本整形外科学会会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振り替えをお願いします。

VIII. プログラム検索 & スケジュール登録アプリ (MICEnavi) について

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会にご参加される方は、ご自身のスマートフォンや携帯タブレット端末を使ってプログラムの検索やスケジュール登録が行える「MICEnavi」サービスをご利用いただけます。

公開日：2019年4月上旬頃

利用方法：

①Apple App Store・Google Play より「MICEnavi」を検索し、アプリをインストールしてください。

※すでにMICEnaviアプリをお持ちの場合は、インストールの必要はございません。

②アプリを開いて、アカウントを作成し、ログインしてください。

※すでにMICEnaviアカウントをお持ちの場合は、アカウント作成の必要はございません。

③アプリ内で「脊椎脊髄病学会」「JSSR2019」などで検索し、ダウンロードしてください。

利用料：無料(アプリのダウンロードには別途通信料が発生します)

対応機種：iOS 10.0以降 iPhone, iPad, iPod touch に対応

Android 4.4以上、スマートフォン、タブレットに対応

抄録閲覧時、パスワードの入力が求められますので下記を入力してください

パスワード：jssr2019

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会

特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	日時	単位種別	必須分野	認定番号
1	頸椎椎弓形成術—誕生とその後の進歩—	田口敏彦	P. 421	19日 08:40~09:40 13:40~14:40	N, SS	7, 8	032
2	脊椎外科この40年の進歩と時代の変遷を振り返って	野原 裕	P. 424				

教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	日時	単位種別	必須分野	認定番号
1	医学医療におけるメディカルイラストレーションの必要性とヴィジュアルコミュニケーションの効果	レオン佐久間	P. 197	18日 08:00~09:00 09:10~10:10 10:20~11:20	N, SS	14-5	001
2	Osteoporotic Spine Fracture—An Orthopedic Surgeon's Perspective	Shih-Tien Wang	P. 197				
3	Long-term Results of Lumbar Disc Replacement	Christoph J. Siepe	P. 198				
4	Indication, Surgical Skills, and Complications of Spinal Osteotomies in Adult Spinal Deformity Patients	Ibrahim Obeid	P. 199	14:50~15:50	N, SS	7, 8	017
5	Predictive factors of adjacent level disease in the lumbar spine: can the risk be decreased?	Christopher M. Bono	P. 461	19日 08:40~09:40 09:50~10:50 11:00~12:00 13:40~14:40 14:50~15:50 16:10~17:10	N, SS	7, 8	033
6	Minimally Invasive Surgery	Juan S. Uribe	P. 462				
7	Osteoporotic Vertebral Fracture and its Treatment	Dong-Jun Kim	P. 462				
8	Safety of Pedicle Screw Instrumentation in Spinal Surgery	Mun Keong Kwan	P. 463				
9	Cervical Sagittal Balance	Jeffrey C. Wang	P. 464				
10	Is Sub-clinical Infection the Cause for Lumbar Disc Disease	Shanmuganathan Rajasekaran	P. 464				
11	What are the current limitations of MIS surgery in adult lumbar spinal deformity treatment?	Gabriel Liu	P. 713				
12	共同意思決定(Shared Decision Making: SDM)と対話—ケアの倫理を踏まえた「説明に基づく同意」のあり方	荒神裕之	P. 713	20日 09:00~10:00 10:00~11:00	N, SS	14-3	058
	IC から SDM へ対立から共同意思決定への道標	大磯義一郎	P. 714				
13	Strategies of Staged Surgery for Tandem Cervical and Lumbar Spinal Stenosis	Chi-Chien Niu	P. 714	11:00~12:00	N, SS	7, 8	060

Expert Technical Note

No.	タイトル	講師	抄録	日時	単位種別	必須分野	認定番号
1	頸部脊髄症に対する術式選択(前方法, 後方法)	吉井俊貴	P. 149	18日 09:30~11:30	N, SS	4, 7	003
	骨粗鬆症性新鮮椎体骨折の治療戦略	星野雅俊	P. 150				
	転移性脊椎腫瘍への挑戦—palliative surgery の限界に挑む—	中西一夫	P. 150				
	成人脊柱変形の手術戦略	大和 雄	P. 151		N, SS	7	005
2	腫瘍脊椎骨全摘術の実際の手法	村上英樹	P. 421	19日 09:50~11:50	N, SS	7	034
	頸椎変形矯正手術「匠の技」に留め置かれてはならない脊椎外科医のタスク	清水敬親	P. 422				
	脊柱側弯症に対する矯正手術の匠になるためには	渡邊航太	P. 422				
	脊椎内視鏡下手術のアドバンス手術—胸椎黄色靭帯骨化症, 腰椎迂り症の椎間孔狭窄, 重度分離迂り症の分離部除圧手術—	吉田宗人	P. 423				
3	頸椎手術合併症とその対策	根尾昌志	P. 424	19日 14:50~16:50	N, SS	7	049
	胸腰椎手術合併症 その発生率と対策	松本守雄	P. 425				
	脊椎手術におけるエビデンスのない SSI 対策について考える	山崎隆志	P. 425				
	腫瘍脊椎骨全摘術(TEs)における血管損傷	川原範夫	P. 426				
4	頸椎後縦靭帯骨化症に対する骨化浮上術	進藤重雄	P. 693	20日 10:00~12:00	N, SS	7, 8	057
	胸腰椎前方手術	伊東 学	P. 693				
	腰椎前方手術の基本知識と手技の実際—従来法から LLIF まで	折田純久	P. 694				
	側方アプローチ手術による矢状面矯正	金村徳相	P. 694				

モーニングセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	日時	単位 種別	必須 分野	認定番号
1	1. 成人脊柱変形に対する C-MIS 変形矯正術 —明日から施行するために必要な知識と実技上のコツ— 2. 術中モニタリング専門医制度の制度設計と資格要件	齋藤貴徳	P. 427	19日 07:30~08:30	N, SS	7, 8	026
2	骨粗鬆症性椎体骨折に対する Balloon Kyphoplasty—早期適応症例における留意すべき点	戸川大輔	P. 465		N, SS	4, 7	027
3	腰背部痛の鑑別診断と治療～最悪のシナリオを回避するために～	渡邊航太	P. 484		N, SS	7, 8	028
4	脊柱靭帯骨化症, 病態把握と治療の最前線	川口善治	P. 503		N, SS	7, 8	029
5	腰部脊柱管狭窄症に対する全内視鏡的脊椎手術の最前線～除圧から固定まで～	西良浩一	P. 522		N, SS	7, 8	030
6	特発性側弯症手術における術式の変遷と最新の矯正法	飯田尚裕	P. 541		N, SS	3, 7	031
7	転倒予防と健康長寿に向けた包括的な高齢者医療 —筋力低下および矢状面アライメントへのアプローチを中心として—	松平 浩	P. 715	20日 07:50~08:50	N, Re	7, 8	055
8	頸椎後縦靭帯骨化症における最近の知見 脊椎疾患を伴う高齢者腎機能障害者への対応—疼痛薬物管理を中心に—	大島 寧 山縣邦弘	P. 724 P. 725		N, SS	7, 8	054

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	日時	単位 種別	必須 分野	認定番号
1	腰椎椎間板ヘルニアに対する新たな治療選択肢～コンドリナーゼの適正使用推進のために～	千葉一裕	P. 151	18日 11:45~12:45	N, SS	7, 8	007
2	成人脊柱変形の手術治療に関する国際的動向	伊東 学	P. 165		N, SS	7, 8	006
	成人脊柱変形矯正固定術をおこなう上で大切なこと	福田健太郎	P. 166		N, SS	7, 8	008
3	Sagittal Morphological Abnormalities of the Cervical Spine and its Clinical Implications	清水敬親	P. 183		N, SS	7, 8	010
4	腰椎変性疾患に対する miniALIF の適応と手術成績	中原進之介	P. 198		N, SS	7, 8	009
5	成人期の脊柱変形に対する矯正固定術：自然経過と動的評価からみた治療戦略の考案	渡邊 慶	P. 212		N, SS	6, 7	011
6	関節リウマチにおける脊椎病変 —脊椎外科医に求められる最新の評価および治療指針—	海渡貴司	P. 228		N, SS	14-2	012
7	整形外科感染症に対する抗菌薬適正使用 Antimicrobial Stewardship の推進	矢野晴美	P. 244		N, SS	7	013
8	Artis zeego/ARTIS pheno を用いた脊柱変形手術の手術環境—内視鏡支援前方矯正固定術 ECIF-A や Correction Box を用いた後方矯正固定術 ECIF-P の試み—	江原宗平	P. 260		N, SS	7, 13	014
9	改訂ガイドラインを軸とした腰痛診療のアップデート	竹下克志	P. 276		N, Re	2, 4	015
10	BKP 地域連携バスから始めた病診連携と多職種連携～急性期病院における骨粗鬆症リエゾンサービスの有用性	小谷俊明	P. 293		N, SS	7, 8	042
11	成人脊柱変形治療の最前線	江幡重人	P. 423	N, SS	1	038	
12	運動器慢性疼痛に関する最新の知見：変形性膝関節症の慢性疼痛の病態生理・診断・治療	石島旨章	P. 436	N, SS	8	043	
	運動器慢性疼痛に関する最新の知見：ペインクリニックからみた運動器慢性疼痛の病態生理・診断・治療	井関雅子	P. 437	N, SS	7	044	
13	The Mechanism and Effective Pharmacotherapy for Musculoskeletal Pain	折田純久	P. 452	N, Re	7	045	
14	脊椎固定術における同種骨移植 —現状と今後の展望	井上 玄	P. 463	N, SS	7	046	
15	腰痛患者に対する包括的治療；新旧の腰痛診療ガイドラインを参考に	白土 修	P. 474	N, SS	7	039	
16	椎体間固定材料, あなたは何を使いますか?	新井嘉容	P. 493	N, SS	7	046	
17	腰椎椎体間ケージのバイオマテリアルとバイオメカニクス ～新規加工技術がもたらすもの～	牧野孝洋	P. 494	N, SS	7	040	
18	脊椎疾患の痛みとその治療 ～慢性腰痛と集学的治療について～	鈴木秀典	P. 512	N, SS	7	047	
19	脊椎手術における在院日数短縮の試み —側臥位脊椎手術 (single position lateral spine surgery) を含めて—	生熊久敬	P. 531	N, SS	2, 7	041	
	その在院日数, もう少し短くできませんか? ～当院の経験からわかったこと～	鶴飼淳一	P. 532	N, SS	7	047	
20	脊髄損傷患者に対する再生医療の実際	本望 修	P. 551	N, SS	7	041	
	脊椎インストゥルメンテーションの進歩と基本的手技の習得	高相晶士	P. 569	N, SS	7	041	
	脊柱側弯症(小児例)の手術治療	今釜史郎	P. 570	N, SS	7	041	

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号
1	慢性疼痛の病態と治療	紺野慎一	P. 153	18日	16:00~17:00	N, SS	8	020
2	成人脊柱変形(骨粗鬆症性椎体骨折後変形を含む)の病態と治療戦略	種市 洋	P. 169			N, SS	7, 8	021
3	脊柱変形手術低侵襲化への挑戦—ロボティックアームハイブリッドOR から VR を駆使したチームビルディングまで—	篠原 光	P. 199			N, SS	7, 8	022
4	超高齢社会の脊椎脊髄損傷 —minor trauma と骨粗鬆症—	筑田博隆	P. 215			N, SS	2, 7	023
5	健康寿命延伸のための骨粗鬆症対策—運動療法とビタミンDの役割—	宮腰尚久	P. 231			N, SS	4	024
6	PLIF 術後の骨癒合率を上げるために—3 大学共同研究での取り組み—	長谷川智彦	P. 247			N, SS	7, 8	025
7	頸椎外傷に対するナビゲーション手術	伊藤康夫	P. 263			N, SS	7, 8	018
8	頸椎椎弓形成術における C5麻痺の予防	和田簡一郎	P. 264			N, SS	7, 8	019
	脊椎外科医が知っておくべき体幹筋の機能	金岡恒治	P. 280			N, Re	7, 13	019
	腹部体幹筋トレーニングの新たなアプローチ	加藤仁志	P. 280					

指導医イブニングセミナー

タイトル	講師	抄録	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号
医療行為における事故対応	小森博達	P. 426	19日	18:30~19:30	N, SS	14-4	053

会長講演

タイトル	講師	抄録	日時	
事上磨練—ask what you can do for spinal disorders—	波呂浩孝	P. 152	18日	13:50~14:20

文化講演

タイトル	講師	抄録	日時	
日本ウイスキー 世界一への道	輿水精一	P. 152	18日	14:20~14:50

シンポジウム

No.	タイトル	講師	抄録	日時	
1	成人脊柱変形に対する椎体骨切りを行わない後方矯正固定術の可能性と限界	長谷川和宏	P. 147	18日	08:00~09:30
	成人脊柱変形手術における、LIF と3-column 骨きりの選択	稲見 聡	P. 147		
	椎体骨切りをすべき症例とは?	大和 雄	P. 148		
	成人脊柱変形手術における LLIF の適応と限界、術前評価~GAP スコアを用いてわかったこと~	大場哲郎	P. 148		
	高齢者の矢状面バランス不良を改善する手術における術式選択、特に腰椎前彎をつくる手術における PSO から LIF への変遷	宮本 敬	P. 149		
2	Regenerative medicine for spinal cord injury using iPS cells	中村雅也	P. 446	19日	08:40~10:40
	Acute hyperglycemia impairs functional improvement after spinal cord injury in mice and humans	岡田誠司	P. 447		
	Autologous bone marrow mesenchymal stem cell therapy for spinal cord injury	山下敏彦	P. 447		
	Regenerative medicine for intervertebral disc degeneration : Challenges towards realization	酒井大輔	P. 448		
	Condoliase, a novel treatment option for lumbar disc herniation—from bench to bedside—	千葉一裕	P. 448		
Therapeutic targets for discogenic low back pain	大鳥精司	P. 449			

ハンズオンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	日時	
1	頸椎人工椎間板置換術 基本手技とピットフォール(Mobi-C)	石井 賢	—	18日	14:50~16:20
2	人工椎間板 Prestige LP ハンズオン	吉井俊貴	—	19日	14:50~16:20
3	腰椎椎間板ヘルニア治療剤コンドリナーゼの適正使用と診断	松山幸弘	—	20日	09:00~10:30

日整会認定教育研修 受講取得探単位(認定谷種別)

N: 日整会専門医単位 SS: 脊椎脊髄病医単位 Re: 運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修講演 受講必須分野

- 01 整形外科基礎科学
 - 02 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
 - 03 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
 - 04 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
 - 05 骨・軟部腫瘍
 - 06 リウマチ性疾患, 感染症
 - 07 脊椎・脊髄疾患
 - 08 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
 - 09 肩甲帯・肩・肘関節疾患
 - 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
 - 11 骨盤・股関節疾患
 - 12 膝・足関節・足疾患
 - 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
 - 14-1 医療安全
 - 14-2 感染対策
 - 14-3 医療倫理
 - 14-4 指導医講習会, 保険医療講習会, 臨床研究/臨床試験講習会, 医療事故検討会, 医療法制講習会, 医療経済(医療保健など)に関する講習会, 地域医療/医療福祉制度に関する講習会, 専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会(医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む)など
 - 14-5 医学全般にわたる講演会などで, 14-1~14-4に当てはまらないもの
-

Ⅷ. 脊椎脊髄外科指導医 医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位取得講演について

脊椎脊髄外科指導医の資格申請時に必要となる「医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位1単位」は、下記の講演にて取得可能です。

この単位は新規申請、継続申請ともに必須となっております。

対象講演：指導医イブニングセミナー「医療行為における事故対応」

講師：小森 博達(日本赤十字社 横浜市立みなと赤十字病院 整形外科)

会場：第1会場(パシフィコ横浜 会議センター1F メインホール)

日時：4月19日(金) 18:30～19:30

受講料：医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位1単位取得 2,000円

日本整形外科学会教育研修講演単位取得 1,000円

(両方の単位取得を希望される方は、それぞれお申込みください)

受付：4月19日(金)7:00～18:25まで受付いたします。受付場所は指導医資格単位受付(パシフィコ横浜 会議センター2F)です。巻頭の申込用紙に必要事項をご記入の上、受付で受講料を添えてお申込みください。領収書と引換券をお渡します。

※受講証明書は会期後(5月末頃)にご本人宛に郵送いたします。申込用紙の送付先記入欄にお間違えのないようにご記入をお願いします。

受講証明：講演終了後、引換券を講演会場出口で回収します。受付で受講料を支払っていても、引換券の提出がなければ受講したことが認められず、受講証明書は送付されませんのでご注意ください。

※受講証明書の再発行はいたしませんので、資格更新時あるいは新規申請時まで保管してください。

Ⅹ. 日本脊椎脊髄病学会奨励賞(大正 Award)のおしらせ

本学会で発表されたすべての演題のうち、優れた内容のものに奨励賞が贈られます。詳細につきましては巻末のお知らせをご覧ください。